

研究課題名	90 歳以上の高齢者に対する心房粗細動カテーテル治療の有用性
研究実施機関名および研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 循環器内科 副部長 佐藤 明
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 循環器内科 副部長佐藤 明
研究期間	2004年1月1日～2024年7月31日
研究の目的と意義	<p>日本の平均寿命が年々のび、健康寿命の重要性が指摘されている。同時に心房細動・粗動は年齢とともに増加し、血栓塞栓症・心不全などの合併、認知症や腎不全との関連により高率に QOL の低下が見られ、心房細動・粗動に対する治療に迫られる場面によく遭遇する。さらに高齢者は薬物代謝の低下や併存疾患などから抗不整脈薬の使用が困難な症例も多く、心房細動および粗動のカテーテル治療の有効性および安全性が向上してきている昨今、カテーテル治療を選択する必要がある症例が増加してきている。</p> <p>今回当院にて心房細動・粗動に対しカテーテル治療を行なった、90 歳以上の 11 症例について報告する。</p>
本研究の対象となる方	2004 年以降当院で心房粗細動に対しカテーテルアブレーションを施行された方
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、治療日、転帰、検査情報
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。

問い合わせ先

(拒否等の受付窓口)

**【研究担当者】**

所属：さいたま赤十字病院 循環器内科  
副部長

氏名：佐藤 明

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地  
5

電話：048-852-1111

※お問い合わせ先として、申請者ご本人（研究責任医師）または、該当する研究担当者の方のご連絡先を記載してください。